

〔報道関係者各位〕

2010年9月1日

株式会社メディアインタラクティブ

新教育課程施行に関する意識調査

「脱ゆとり」に賛成」9割 「脱ゆとり」で減るものは「遊ぶ時間」「課外活動の時間」 増えるものは「勉強時間」や「親子の時間」

～ランドセルの重さや子供の視力が心配という声も・・・～

株式会社メディアインタラクティブ(本社:渋谷区、代表:橋本光伸)は全国の小学校低学年の子供を持つ男女600名を対象に、「脱ゆとり教育」を掲げて来年完全施行される「新教育課程に関する調査」を実施しました。

*「脱ゆとり教育」を掲げた新教育課程が小学校では来年より完全施行され、今までのゆとり教育による授業時間・内容の削減とは逆に増加させる教育となる予定です。(具体的には、小学校では278時間、中学校では105時間ゆとり教育の授業時間よりも増加し、来年度からは使用される教科書も大幅に変わる予定です)

【調査結果概要】

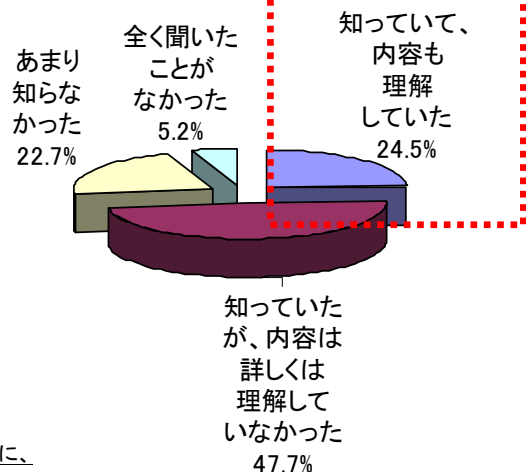
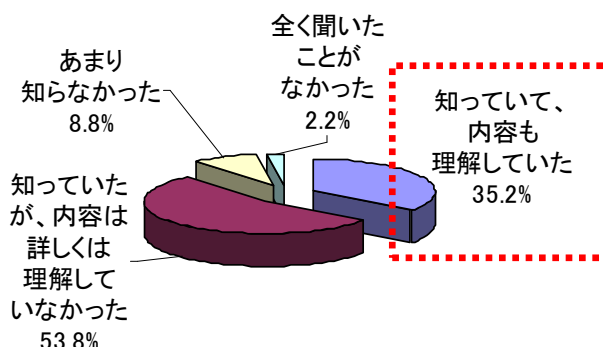
■新教育課程に対する理解状況:

“脱ゆとり”を掲げた新教育課程をきちんと理解している約3割(35.2%)

教科書が約25%増えることを認識している人は約2割(24.5%)

“脱ゆとり”を掲げた新教育課程を「知っていて、内容も理解していた」のは35.2%で、母親(37.2%)が父親(32.2%)よりも若干理解している人が多かったものの、6割以上がきちんと理解しておらず、名前だけ聞いたことがある人がほとんどということが明らかになりました。

新教育課程移行への一環で、2011年度から使われる教科書が全教科で前回(2004年の検定)よりも25%、(ゆとり全盛期の2001年の検定より43%)ページ数が増えたことに関しては更に認知率が下がり、きちんと理解していたのは、全体の24.5%でした。全体的に、親御さん自体、子供をとりまく教育が具体的にどう変化しているかまだ正確に認識していないという結果がでましたが、特筆すべきは20代の父親はどちらも40%の人がきちんと理解しているという結果がでていることです。若いからこそ、子供の教育に関しての情報に敏感にアンテナを張っているのでしょうか。



“脱ゆとり教育”を掲げた新教育課程が施行され、今までのゆとり教育とは逆に、授業時間・内容を増加させる教育となっていることをご存知ですか。

2011年度から使われる教科書は「脱ゆとり」を掲げており、ゆとり全盛期(2001年の検定)より43%ページ数が増えたことを知っていますか。

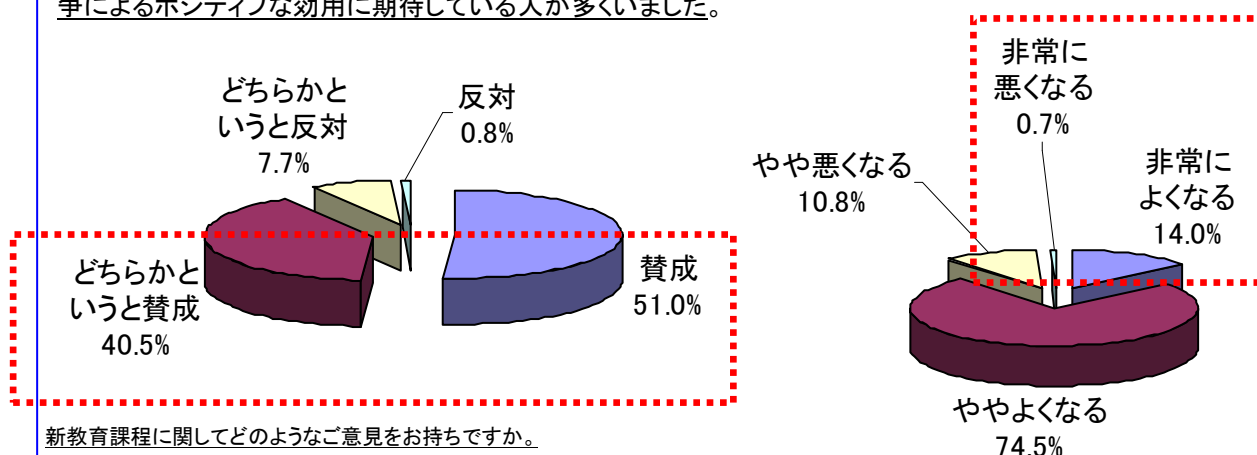
■新教育課程に対する意見:

“脱ゆとり”を掲げた新教育課程に賛成9割

子供の就職力や社会適応力も上がるという楽観意見も約9割

“脱ゆとり”に対しての意見は、賛成(「賛成」と「どちらかという賛成」の合計)が91.5%で、歓迎する声が圧倒的多数でした。理由は、「ゆとり教育の効果を感じられなかった。かえって学力が低下したように感じる。」(長野県 男性 40歳)「暇そうにしているし、自分が子供の頃やったのに今の子供がやらないことがあるので、最低限のことは省かずにやったほうがいい。週休2日で、土曜日に授業参観やちょっとした行事があると、半日でも次の月曜日が1日振り替え休日になるので、余裕があり過ぎだと思う。」(岐阜県 男性 51歳)など、ゆとり教育の結果として学力の低下という負の側面してから実感できていないからという理由が多数を占めました。

“脱ゆとり”が、子供の就職力や社会適応力に対してもポジティブな効果をもたらすという声も88.5%と圧倒的多数で、理由としては「ある程度競争の中からは強い人間は育たないので、これでしっかりした子が沢山出てくると思う。」(栃木県 男性 44歳)「基礎教育の時点でより幅広い知識を得ることで、全体的な学力レベルがあがるのでは。社会もそれに反応するはずと思う」(東京都 女性 33歳)と基礎的な知識の底上げと、競争によるポジティブな効用に期待している人が多くいました。



新教育課程に関してどのようなご意見をお持ちですか。

“脱ゆとり教育”を受けて、子供の就職・社会適応力はどうなると思いますか。

■脱ゆとり教育の影響:

増えるもの—「家での勉強時間」「勉強についていけなくなる子供」「ランドセルの中の荷物」

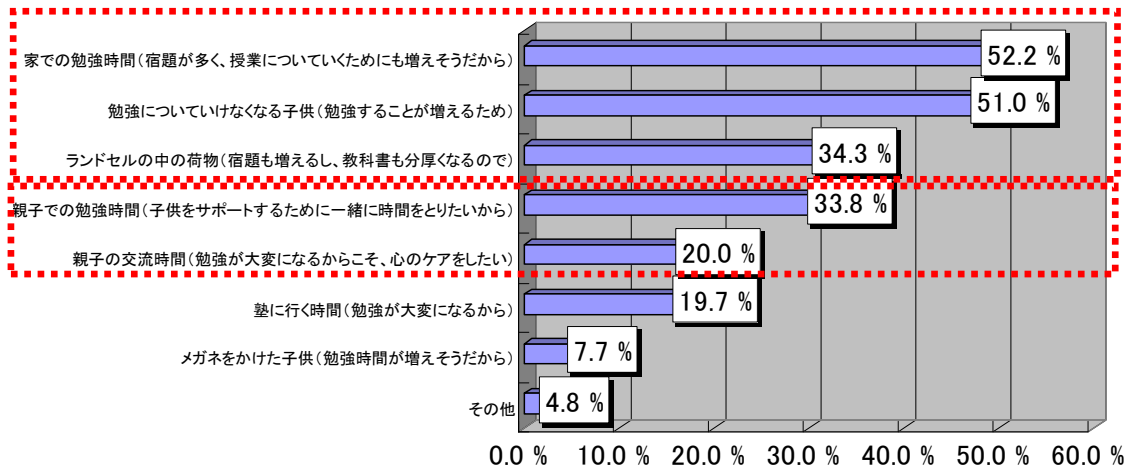
減るもの—「遊ぶ時間」「課外活動をする時間」「親子の交流時間」

新教育課程の影響を受けて増えるもの、減るものについて聞いてみたところ、増えるものは、「家での勉強時間」(52.2%)、「勉強についていけなくなる子供」(51.0%)、「ランドセルの中の荷物」(34.3%)が上位3位でした【複数回答】。教科書も分厚くなり、宿題が増えることが想定されるため、持ち帰る頻度も多くなるだろうというのは親心ですね。その他興味深いのは、上位3位には入りませんでしたが、「親子での勉強時間」(33.8%)や、勉強が大変になるからこそ心のケアをしたいということで「親子の交流時間」(20.0%)という意見も多かったことです。新教育課程の結果、親子で過ごす時間が少し増えることになるかもしれませんね。

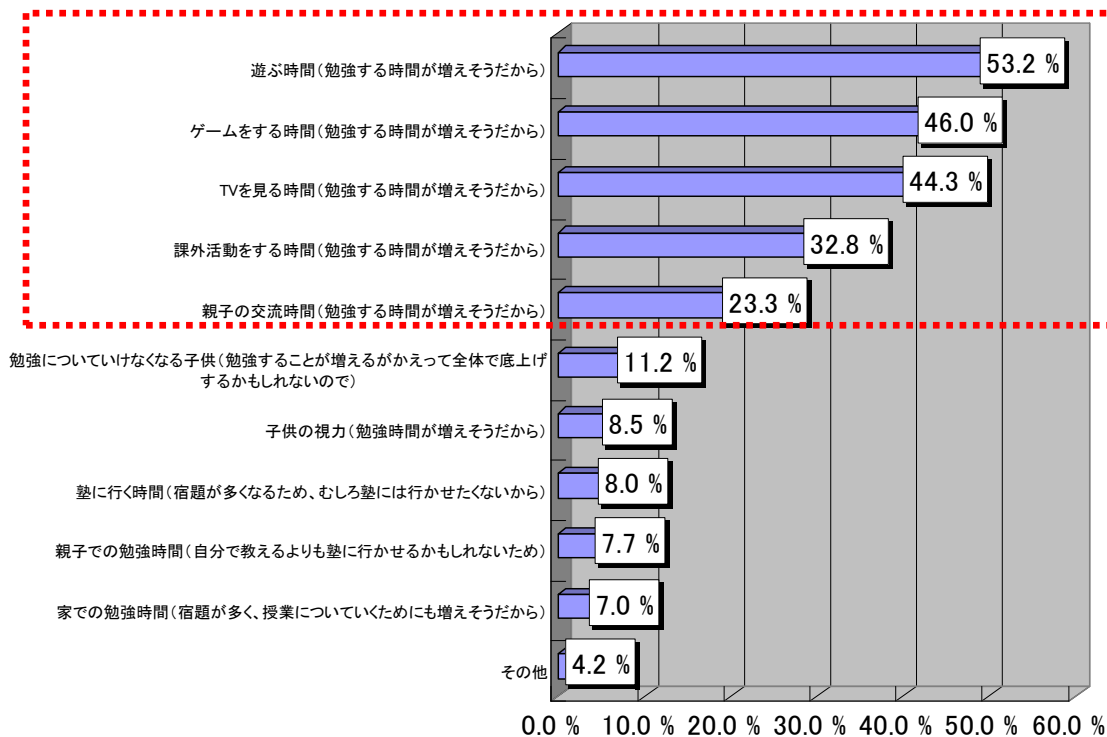
減るものに関しては、「遊ぶ時間」(53.2%)・「ゲームをする時間」(46.0%)・「TVを見る時間」(44.3%)など遊びの時間、「課外活動をする時間」(32.8%)、「親子の交流時間」(23.3%)が上位でした【複数回答】。

ちなみに新教育課程施行を受けて、子供に勉強を教える自信に関しても聞いてみたところ、約1割(9.7%)が子供に勉強を教える自信が少し減ったと回答しました。様々なところで少しずつ影響が出てくるようです。

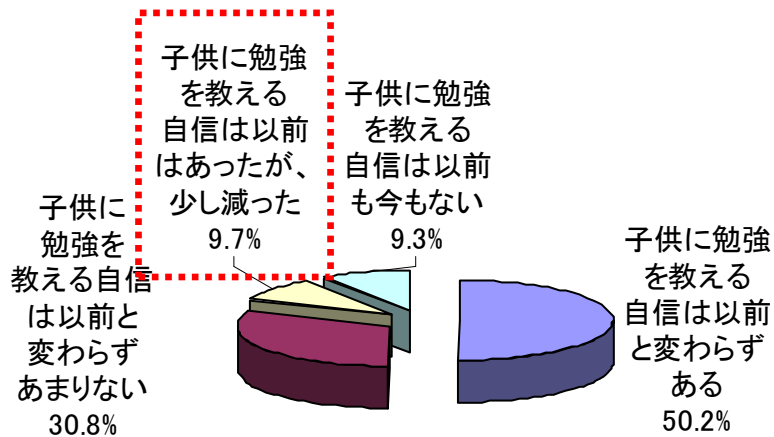
“脱ゆとり教育”を受けて、どのようなことが増えると思いますか。



“脱ゆとり教育”を受けて、どのようなことが減ると思いますか。



“脱ゆとり教育”になり、子供に勉強を教える自信はいかがですか。



■“脱ゆとり教育”で、先生になってほしい人ベスト3「所ジョージ」「ビートたけし」「武田鉄矢」

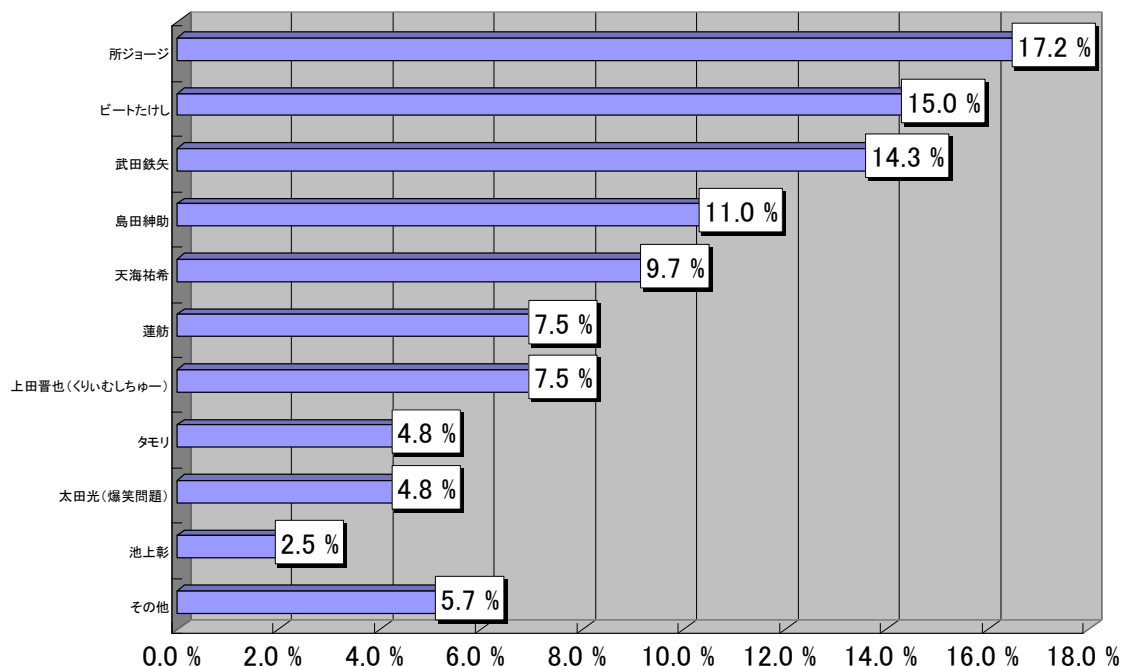
決め手は、“楽しくわかりやすく教える力”と“勉強以外の生きる術の伝達”

“脱ゆとり教育”で教科書が厚くなるに伴い、今よりも教師の方針や力量によって子供の習熟度が左右される可能性があるとも言われています。そういった状況の中で、どのような人に子供の先生になってほしいか聞いたところ、ベスト3は、「所ジョージ」(17.2%)、「ビートたけし」(15.0%)、武田鉄矢(14.3%)でした【複数回答】。理由は、楽しくわかりやすく教える力と勉強以外の生きる術を伝達できるからという意見が多くあがっています。

	回答者属性			理由
所ジョージ	愛知県	男性	44才	知識は豊富にあるが、常に遊び心を忘れない生き方、スタンスにひかれます
所ジョージ	岡山県	女性	37才	楽しい授業で、冗談もいながら要点はしっかり教えてくれそう。
ビートたけし	神奈川県	女性	39才	教えるのが上手そう。子供がついていく攻略とかをわかっていそうなので
ビートたけし	北海道	女性	29才	勉強よりも生きていくうえで大切な事を子どもに教えてくれそう。
武田鉄矢	大阪府	女性	31才	子供たちの気持ちになって真剣に教えてくれそう
武田鉄矢	東京都	男性	45才	学力、人間性、友人関係、及びその大切さ、総合的にバランス良く教育をしてくれると思うから。

その他にも、今話題の蓮舫さんの「厳しく生徒を引っ張って行ってこそ生徒はついていけると思う。」(広島県男性 41才)と厳しさを評価する声や、ニュースの解説などでお馴染みの池上彰さんの「答えに対する根拠までしっかり説明し、きちんと勉強が理解できそうである」とわかりやすさを評価する声なども多くありました。

“脱ゆとり教育”で教科書が厚くなるに伴い、今よりも教師の方針や力量によって子供の習熟度が左右される可能性があるとも言われています。あなたはどのような人に子供の先生になってもらいたいですか。



“脱ゆとり教育”を見すえて、ランドセルは大きめに！？

教科書が来年より厚くなり、宿題も多くなるとすると、荷物が来年から増えるかもしれない！？ということで、今後ランドセルを買う親御さんにどのような視点でランドセルを選ぶことをおすすめしますかと聞いてみると、1位の定番回答「重さ」(58.7%)にせまる形で、「大きさ(高さ・幅)」(44.5%)と「大きさ(奥行き)」(42.8%)という回答が2・3位となりました【複数回答】。“脱ゆとり教育”の影響はこんな意外なところでもでてくるのかもしれない。